

令和 5 年度協働の地域づくり活動方針

令和 5 年 7 月 1 3 日 (木)

令和 5 年度第 1 回荒尾市地区協議会会長会

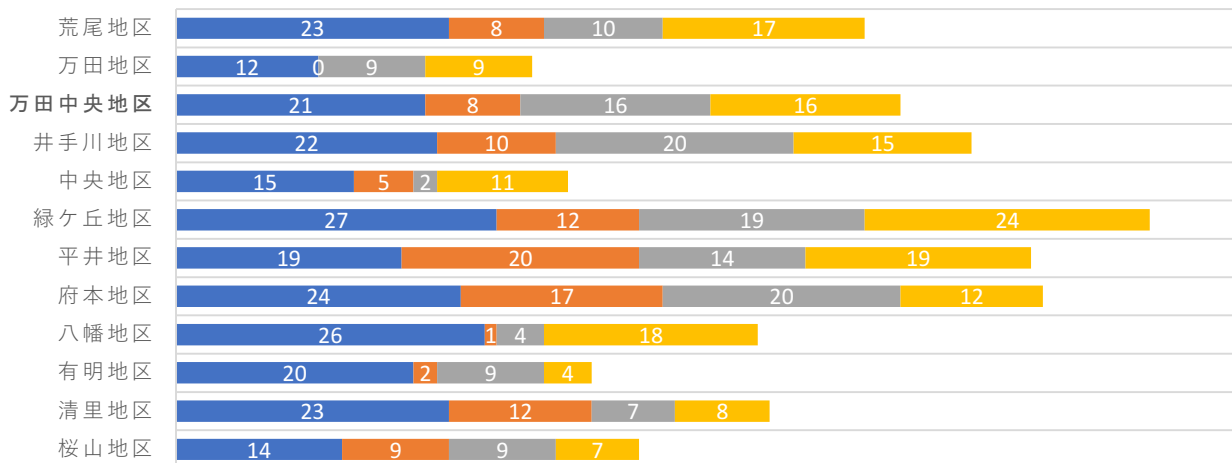
協議事項

1. 地区担当職員制度の現状について
2. 地区別計画の推進について
 - (1) 地区別計画とは
 - (2) 各地区において重要と見込まれるテーマ（案）
 - (3) 地区別計画推進に向けたスケジュール
3. 地区協議会会長会の今後のスケジュールについて

1.地区担当職員制度の現状について

地区担当職員活動実績

■ 令和元年度 ■ 令和2年度 ■ 令和3年度 ■ 令和4年度



4.地区担当職員制度の課題

- ✓ 制度発足後、新型コロナウイルスが流行した。そのため地域活動が大きく停滞し、地区担当職員が地域活動に参加する機会が少なかった。
- ✓ 地区の定例会は、情報共有やイベント等の話し合いがメインであるため、地域のことについて話し合う時間を設けることができず、地区担当職員が活躍する機会が少なかった。
- ✓ 地区によって、定例会や事業の開催が様々であり、地区担当職員の活動回数に差がある。

1.地区担当職員制度の概要

- ✓ 令和元年7月から実施
- ✓ 市内12地区に**地区担当職員**3名配置
- ✓ 主な業務内容は、各地区協議会の活動支援や、市の担当部署との連絡調整など

2.任期

- ✓ 課長級・課長補佐級 2年
- ✓ 係長級及び一般職 3年

3.地区担当職員の現状

- ✓ **地区担当職員連絡会議（年1回）**
⇒各地区の情報交換、近況報告等を行っている。
- ✓ **協働の地域づくりに関する研修への参加（年1回）**
⇒協働のまちづくりや他自治体の地区担当職員制度の現状や取組み状況等について学んでいる。
- ✓ **会議・イベント参加（適宜）**
⇒現在、定例会やイベント等に参加している。

5.今後の方針

- ✓ 会議等で挙げた地域課題の取りまとめ・庁内への情報共有・対応報告
- ✓ 地区別計画の推進に向けた事業立案の検討



2.地区別計画の推進について (1) 地区別計画とは

✓ 地区別計画策定 (令和2年に策定)

地域住民同士・地域と行政などで課題認識を共有し、役割分担のもと対策を検討することが重要であることから、第6次総合計画の策定に合わせ、地域ごとの課題や特性、地域を目指す姿や取り組みの方向性などをまとめた地区別計画を令和2年に策定。

策定にあたっては、地区ごとに3回ずつワークショップを行い、地域住民が抱える困りごとを広く集約することで地域の課題を見つめ直すとともに、目指す姿やその実現に向けた取り組みなどについて地域住民同士で対話を行い、多様な意見を反映させたものとしている。

★地区別計画策定までの流れ (ワークショップ)

○第1回目

・地区の「困りごと」「自慢」について各グループで出し合う。



○第2回目

・「困りごと」や「自慢」を踏まえ、「困りごとを解決するとどんな地区になるか」「今ある魅力や取組みを生かして、どんな地区にしていきたいか」を話し合う。



○第3回目

・地区の目指す姿を実現するための取組みについて、市長を交えて検討。その後、市長から課題解決に向けた市の取組みなどについて説明。



地区別計画に基づく具体的な事業考案を進めていく予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、地域の会議が通常通り実施できなかったことから、当事業は停滞しているところである。しかし、今年度、新型コロナウイルスも2類から5類移行し、地域活動も再開しつつあるので、本課と地区担当職員等と連携し検討していく。

2. (2) 各地区において重要と見込まれるテーマ（案）

- ▶ 地区別計画に係る事業について、スケジュールや、庁内関係課、関係団体との調整等の観点から来年度実施に向け、本年度は、地区担当職員・本課職員・地域との協議を進めていきたいと考えている。
- ▶ 各地区取り組みテーマ候補（案）を検討の上、各地区の会長と協議を行う予定。



①.地域防災力の強化

《現状・課題》

- ・地区別防災計画や災害時要援護者支援計画などの策定が進められており、災害時に支援が必要な市民をいかに隣近所・地域で見守り、支えるかが課題。
- ・各自治会の公民館等において、避難所運営・管理している地域は荒尾市ではほとんどない。



例

- ・防災部会の設立支援・参画
- ・防災体制の確認・課題等への対応
- ・地区単位での防災訓練

②.地域福祉の充実

《現状・課題》

- ・コロナ禍で高齢者等の外出機会低下、社会的孤立が課題。
- ・民生委員の欠員率は県内最高で、人材発掘や担い手育成も課題。
- ・移動手段や買い物などの日常生活を維持するサービス確保が課題。



例

- ・生活支援（買い物支援・移動手段）の普及・拡大
- ・地域福祉部会の設立・参画（社協と連携）

2.(3) 地区別計画推進に向けたスケジュール

R5年度

7月

8月

9月

10月

11月

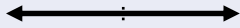
12月

1月

2月

3月

①本課・地区担当職員との打ち合わせ(第1回)



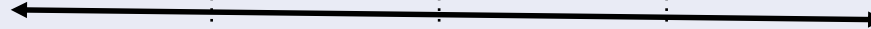
②各地区取り組みテーマ候補(案)の検討(第2回)



③事業の具体化



④各会長と打ち合わせ ※必要に応じて随時実施



⑤役員等へ周知



予算要求書の作成(財政課)
※必要に応じて



3.地区協議会会長会の今後のスケジュールについて

◎令和6年1～2月 視察研修（予定）

【視察研修の過去の開催状況】

H28年度：久留米市 鳥飼校区まちづくり協議会

H29年度：議員との意見交換会及び市長との意見交換会を行ったため実績無し

H30年度：宗像市赤間西区（赤間西区コミュニティセンター）

H31年度：佐賀市 地域コミュニティサイト「つながるさがし」

※令和2・3・4年度は、新型コロナウイルスの影響で中止。

↓H31年度（佐賀市）↓



【視察予定先（案）】

✓ 熊本県 八代市

⇒概ね小学校単位を基本とした「地域協議会」を平成26年度に市内全21地域で設立している。各地域にて「コミセンだより」や「協議会だより」等を通じて、まちの情報や出来事等の発信を市のホームページにて発信している。また、地域住民や市民活動団体等による地域活動拠点として市内21か所にコミュニティセンターを設置。

✓ 福岡県 香春町（採銅所地域コミュニティ協議会）

⇒学校再編により、採銅所小学校が廃校になり、その小学校を活動の拠点として、各部会で子どもからお年寄りまで楽しめる事業の展開など行っており、町のホームページやインスタグラム、Facebook等を活用し、協議会についての周知も図っている。また昨年度、役員や部会長を中心に、各部会の基本方針を定め、課題と解決策の具体的な取り組みを記した「採銅所地域づくり夢プラン」の策定も行っている。